

南国市環境基本計画の 策定に向けて！

■環境保全活動の実践と意欲

(こどもは11項目、大人は16項目について、「している」「時々している」「今後したい」「するつもりはない」の中から選択)

★こどもの取り組み

	している・時々している		するつもりはない	
	項 目	比率 (%)	項 目	比率 (%)
第1位	食べ物は残さない	85.7	家族で環境問題について話し合う	52.0
第2位	ごみはごみ箱に捨てたり、家に持ち帰ったりする	87.2	ペットボトルや缶入りの飲み物は買わないよ	49.0
第3位	自然を傷つけたりしないで大切にしている	75.9	文房具は再生紙などエコマークつき商品を買う	29.6

★大人の取り組み

	している・時々している		するつもりはない	
	項 目	比率 (%)	項 目	比率 (%)
第1位	行楽地へ行って出たごみは必ず持ち帰る	82.2	太陽熱温水器や太陽光発電を利用する	26.8
第2位	たばこの吸殻やごみは、ごみ箱に捨てる	77.9	生ごみを堆肥にしている	20.2
第3位	調理くずや食べ残しを減らすように心がける	76.5	お店ではレジ袋や包装をできるだけ断る	11.7

■環境保全活動の実践と意欲
「道徳的な行動と省エネルギー行動は、多くの人が取り組んでいます」
こどもたちは、「食べ物は残さない」「ごみは持ち帰る」

「自然を大切にすること」などには、既に取り組んでいるようです。しかし、「環境問題の話を」「容器入り飲料を買わない」「エコ商品を買う」など、一歩踏み込んだ取り組みはこれからのようです。中でも特徴的



数字を示して、市民・事業者・市が協力したこれからの運動の展開が課題といえそうです。

なのは「容器入り飲料を買わないようにするつもりはない(買い続ける)」と答えたことも49.0%を占めていることは、大量消費・大量廃棄型のライフスタイルが、こどもたちに浸透していることを表しているのではないのでしょうか。

大人も手軽にできることはよく取り組まれているようです。今後取り組みたいこととして「レジ袋を断る」35.5%、「パック入り商品を買わないようにする」28.1%、「生ごみを堆肥化する」27.0%と比較的高い数字を示していることから、市民・事業者・市が協力したこれからの運動の展開が課題といえそうです。



■環境保全活動の実践と意欲

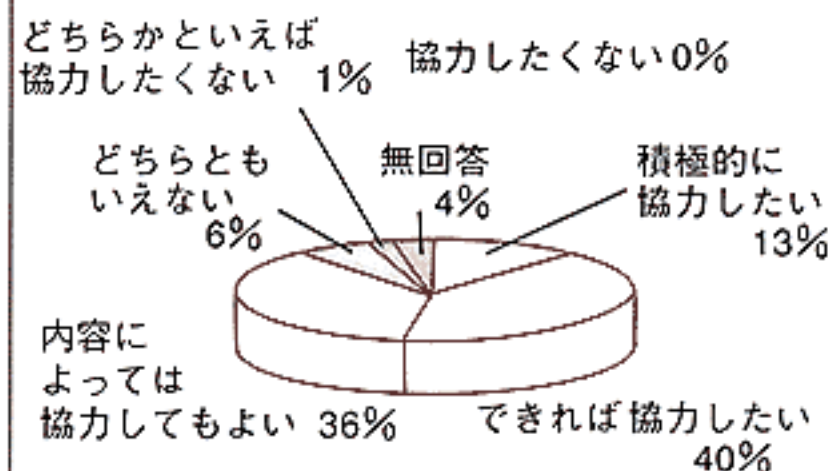
(12項目について、「すでにしている」「今はしていないが積極的にしたい」「支障がなければしたい」「するつもりはない」の中から選択)

	すでにしている		するつもりはない	
	項 目	比率 (%)	項 目	比率 (%)
第1位	節電等省エネルギー化	35.8	自動車の小型化、低公害車の導入	3.2
第2位	再生紙・再生素材等リサイクル	32.6	地域の環境保全活動への参加・支援	2.1
第3位	廃棄物の分別・リサイクルの推進	30.5	廃棄物の削減/包装材の削減/アイドリングストップなど	1.1

事業所の環境意識
■環境保全活動の実践と意欲
「省エネルギーやリサイクルなどに既に取り組んでいます」

市の環境に対するアンケート結果

■環境行政への協力意欲



■環境行政への協力意欲
「できれば協力したい」
環境行政に対して、「できれば協力したい」40.0%と、「積極的に協力したい」13.0%を合わせて、過半数の事業所が協力の意志を示しています。
また、社会の環境意識の高まりが、「事業活動により影響を及ぼす」と答えた事業所が36.8%と、「どちらかといえば障害となる」12.6%を大きく上回る結果でした。
これらのことから、事業者の高い意欲が、環境行政の推進力になることを期待します。

■市民・事業者・市が協力して取り組むべきこと

環境保全で特に優先すべきこととして「水質汚濁の防止」が、こども39.9%（第1位）、大人32.5%（第1位）、事業所35.8%（第2位）と各主体とも上位に挙げられています。



水質汚濁はこどもたちの不満度第2位でもあり、川や海で遊びたいということもたちの思いをかなえてあげるためにも、生活排水の改善が急がれます。

また、「ごみのポイ捨て防止」がこども26.7%（第4位）、大人29.2%（第2位）、事業所21.1%（第4位）、「不法投棄の防止」がこども25.2%（第5位）、大人21.9%（第4位）、事業所37.9%（第1位）となっており、これらが南国市民と事業者に通に認識されている環境問題であるといえます。

■市民・事業者・市が協力して取り組むべきこと (19選択肢から、こどもは5つ選択、大人・事業者は3つ選択)

□ はこども・大人・事業者に通の項目

	こども		大人		事業所	
	項目	比率 (%)	項目	比率 (%)	項目	比率 (%)
第1位	川の水の汚れをなくすこと	39.9	生活排水や工場廃水等の水質汚濁の防止	32.5	産業廃棄物などの不法投棄防止	37.9
第2位	工場などのけむりを減らすこと	33.5	ごみのポイ捨て防止などのマナー改善	29.2	生活排水や工場廃水等の水質汚濁の防止	35.8
第3位	森林などの自然を守る	28.4	リサイクルの推進	25.1	リサイクルの推進	30.5
第4位	ごみのポイ捨てをやめること	26.7	産業廃棄物などの不法投棄防止	21.9	ごみのポイ捨て防止などのマナー改善	21.1
第5位	山や川にごみを捨てないこと	25.2	ダイオキシン類などの汚染防止	19.4	ダイオキシン類などの汚染防止	18.9

■本年度と来年度で南国市環境基本計画を策定！

市の環境を守り、将来の世代へ引き継いでいくための主体は、市・市民・事業者の皆さんです。

今回のアンケート結果を基に、皆さんとともに南国市環境基本計画を策定していきますので、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

※お問い合わせは
生活環境課環境公害係
(2880-6557)まで